

別紙様式 1

平成28年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県青少年センター	施設所在地	徳島市徳島町城内2-1
指定管理者名	徳島県青少年センターPFI株式会社	指定期間	平成22年2月1日～平成30年3月31日
施設所管課	次世代育成・青少年課	【連絡先】	若者・青少年育成担当 621-2176 625-6166

1 施設の概要

設置年月日	昭和49年1月13日
設置目的	青少年の余暇の有効な活用に必要な場と機会を提供し、青少年が行う団体活動を援助する等により、青少年の健全な育成を図り、あわせて県民の福祉の向上に資するため。
施設内容	地下1階地上6階建鉄筋コンクリート造及び平屋建鉄骨造 ◆6階：レクリエーションホール、華道室、茶道室、和室、第4小会議室 ◆5階：県消費者情報センター、音楽室、第3小会議室 ◆4階：中会議室、第1小会議室、第2小会議室、個室音楽室3室、IT学習室 ◆3階：大会議室 ◆2階：健康トレーニング室、卓球室、体育室、小体育室 ◆1階：総合受付、県民ギャラリー、キッチンスタジオ、図書コーナー、キッズルーム、県事務室、 青少年団体連絡室、カフェレストラン、徳島インディゴソックス球団事務室 ◆地下1階：インドア運動場、サークル連絡室、駐車場
利用料金等	指定管理者があらかじめ知事の承認を受けて定める額
開館日・休館日等	開館時間：午前9時から午後9時まで（インドア運動場のみ午後11時まで） 休館日：毎月第2・第4水曜日、12月29日～1月3日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	・体育室その他の施設の利用に供すること ・センターの施設等の維持管理（知事が指定する補修等を除く）に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金に関する業務 ・その他センターの管理に関し知事が必要と認める業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 7 名 臨時職員 11 名 計 18 名 ・維持管理業務：(株)合人社計画研究所 ・運営業務：(株)合人社計画研究所、徳島パブリックビジネス(株) ・施設長（運営業務総括責任者）：1名 ・維持管理総括責任者：1名 ・各運営業務責任者（利用管理、有効活用、健康トレーニング指導、情報システム、広報、総務） 4名（うち兼務1名） ・各維持管理業務責任者（各保守管理、清掃、警備、植栽・灌水・外構、情報システム、衛生） 2名（うち兼務2名） ・運営管理業務スタッフ 13名 ※(株)合人社計画研究所：徳島県青少年センターPFI(株)（合人社計画研究所グループ）の代表企業 ※徳島パブリックビジネス(株)：徳島県青少年センターPFI(株)より運営業務について第三者委託を受けた企業
------	---

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	28年度	15,105	18,093	18,277	20,146	17,339	15,315	19,453	16,528	15,942	13,954	13,839	18,435	202,426
	前年度	13,868	15,331	15,775	16,376	21,133	16,481	18,423	21,841	14,138	13,708	17,041	18,017	202,132
	前々年度	15,491	17,107	18,186	19,514	18,511	16,833	19,253	17,054	14,187	14,953	15,786	18,221	205,096

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	28年度	2,677	2,636	2,456	2,701	2,521	2,456	3,371	2,616	2,419	1,931	2,317	2,936	31,037
	前年度	2,149	2,365	2,334	2,360	3,052	2,350	2,777	2,509	2,058	2,107	2,420	2,754	29,235
	前々年度	2,033	2,314	2,585	2,649	2,905	2,513	2,843	2,343	2,173	2,035	2,242	2,763	29,398

施設毎 利用料金収入 (千円)		体育室	小体育室	健康トレーニング室	大会議室	会議室 1	小計
	28年度	2,766	565	4,454	2,734	1,900	12,419
	前年度	2,737	520	4,658	2,029	1,294	11,238
	前々年度	2,632	656	4,153	2,097	1,223	10,761

施設毎 利用料金収入 (千円)		会議室 2	会議室 3	会議室 4	会議室 5	IT学習室	小計
	28年度	2,211	187	943	1,027	24	4,392
	前年度	1,842	1,416	717	728	234	4,937
	前々年度	1,569	1,347	1,065	786	303	5,070

施設毎 利用料金収入 (千円)		個室音楽室	音楽室	華道室	茶道室	和室	小計
	28年度	457	925	405	552	523	2,862
	前年度	505	728	307	390	355	2,285
	前々年度	348	1,034	382	558	348	2,670

施設毎 利用料金収入 (千円)		レクリエーションホール	インドア運動場	小計	施設計
	28年度	1,283	6,113	7,396	27,069
	前年度	1,114	6,159	7,273	25,733
	前々年度	1,310	6,391	7,701	26,202

設備毎 利用料金収入 (千円)		調理台	卓球台 A	卓球台 B	ロッカー	設備計
	28年度	213	639	1,007	106	1,965
	前年度	209	476	871	115	1,671
	前々年度	235	349	834	103	1,521

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		平成28年度	平成27年度	平成26年度（前年度）
収 入	サービス対価	87,707	85,430	85,430
	利用料金収入（駐車場含む）	41,592	39,889	41,583
	事業収入	5,125	5,495	6,465
	その他	6,318	6,273	6,715
	計	140,742	137,087	140,193
支 出	維持管理・運営費（人件費含む）	131,573	127,592	129,478
	事業費	5,125	5,495	6,715
	その他	745	851	855
	計	137,443	133,938	137,048
収 支		3,299	3,149	3,145

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	【光熱水費削減の取組】 ・デマンドを設置し、光熱水費の節減に務めている。 ・1階キッチンスタジオの窓ガラスに遮熱フィルムを貼付 ・夏季室温上昇防止のため、ゴーヤツリー設置及びサーキュレーターの導入 ・施設の効率的な運営についてスタッフ会議や研修を実施 【備品・消耗品昨弁の取組】 ・備品、消耗品の早期修復により耐用期間の長期化を図っている。 ・データでの情報管理を基本とし、紙印刷を最小限にとどめる。また、ミスコピーは裏面利用をしている。 ・コスト削減に関するスタッフ会議を開催している。
サービス向上の取組	・施設開館時には学生の長期休暇期間中以外にも自習室の開放に努め、利用促進のため、ホームページ、ツイッターで広報を行った。 ・毎月1日は、ポイント2倍デイ、4月はじめの1週間は、ポイント5倍ウィーク、また、センターまつりの日は施設の無料開放デイとし、お客様への利益還元に努めた。 ・忘れ物、落とし物などの拾得物を、来館者の方が探しやすいよう掲示を実施している。 ・室内に冷房設備がない体育室に大型サーキュレーターを設置した。 ・健康トレーニング室利用者が効果測定を簡単にできる体脂肪計無料測定サービスを実施した。 ・「自然な出逢いを」フットサルコンを6回実施した。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	・徳島ヴォルティスサッカー教室（4月～3月 1,511名） ・徳島RAPAZ小学生フットサルスクール（4月～3月 920名） ・キッズクラシックバレエ（4月～3月 76名） ・キッズクラシックバレエ体験レッスン（4～3月 12名） ・キッズストリートダンス（4月～3月 108名） ・ジュニア、キッズクッキング（4月～3月 745名） ・こども書道教室（4月～3月 84名） ・茶道（4月～3月 36名） ・体組成無料測定会（4月～3月 298名 健トレ室利用回数に応じた無料イベント） ・セーフティボクシング（4月～3月 115名） 多数の講座やイベントを自主的に企画・実施している。
----------	---

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・参加費無料のイベントを企画するなど、利用者に対するサービスの向上に努めている。 ・施設内に自主提案施設（カフェ・自動販売機・ロッカー等）を積極的に設置し、利用者の利便性の向上に努めている。 ・施設利用者は引き続き20万人以上を確保している。 ・積極的な広報宣伝を行い、施設の利用者数の増加に努力している。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・事業計画を適切に実施している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・業務計画書に従い、職員の配置、施設の保守管理・修繕・清掃・警備、什器備品の管理等、施設の適正な維持管理が行われている。 ・セルフモニタリング報告書、月次報告書が適正に提出されている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・関係法令を遵守し、適正な管理に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・施設の利用者への対応等は、スタッフ会議や職員研修会の実施により毎年改善に務め、年間計画に基づき概ね適正に運営されている。 ・利用料金の徴収、減免、還付が適正に実施されている。 ・セルフモニタリング報告書、月次報告書が適正に提出されている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・職員の労働条件、施設の維持管理及び運営体制を確保するため、適正な人員を配置している。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・積極的に地元雇用を実施している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・必要に応じ地元企業等と連携し、事業を実施している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・緊急時のマニュアルを作成し、安全管理体制、事故防止体制が整備されており、職員研修も実施している。 ・個人情報保護要綱を制定し、職員に周知し、情報管理に努めている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・ 環境対策の状況	A	・ 壁面緑化や施設の照明をＬＥＤ化するなど、環境に配慮している。 ・ 夏季室温上昇防止のため、ゴーヤツリーを設置している。
⑪その他 ・ 関係法令の遵守状況 ・ 情報公開請求への対応体制	A	・ 関係法令を遵守し、適正な管理に努めている。 ・ 県の情報公開条例により対応している。
総合評価	A	・ 事業契約書や事業計画書に基づき、概ね適切に管理運営業務が実施されている。

〈評価指標〉 Ｓ：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 Ａ：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
 Ｂ：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
 Ｃ：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

平成２８年度の施設利用者は、平成２７年度と比較して約０．１パーセント増加し、２０万人以上を確保している。施設利用料は約６．１パーセントの増加に転じている。
 今後も更に利用者のニーズの把握・分析を行い、利便性やサービスの向上を図り、施設の利用促進に努めることが必要である。